



監視とレポート

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

NetApp
September 29, 2025

目次

監視とレポート	1
ステータス情報の表示	1
ジョブの監視	2
ジョブログをダウンロード	3
レポートへのアクセス	4
VMware vSphere Clientからのレポートの種類	4
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUIからのサポートバンドルの生成	6
メンテナンスコンソールからサポートバンドルを生成する	7
監査ログ	8
データ保護イベント	9
メンテナンスコンソールイベント	10
管理コンソールイベント	10
syslogサーバの設定	11
監査ログの設定を変更します	11

監視とレポート

ステータス情報の表示

vSphere Clientのダッシュボードでステータス情報を確認できます。ステータス情報は1時間に1回更新されます。

手順

1. vCenterクライアントのショートカットページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCVの左側のナビゲーションペインで、[ダッシュボード]>*[ステータス]*を選択します。
3. 次の表に示す概要ステータス情報を表示するか、詳細を表示するリンクをクリックします。

このダッシュボードタイル...	次の情報を表示します。
最近のジョブアクティビティ	<p>最新のバックアップ、リストア、およびマウントジョブが3~5つ実行されています。</p> <ul style="list-style-type: none">ジョブIDをクリックすると、そのジョブの詳細が表示されます。すべてのジョブの詳細については、[すべて表示]をクリックして [ジョブモニタ] タブに移動します。
ジョブ	選択した期間内に実行された各ジョブタイプ（バックアップ、リストア、マウント）の数。グラフのセクションにカーソルを合わせると、そのカテゴリの詳細が表示されます。

このダッシュボードタイル...	次の情報を表示します。
最新の保護サマリ	<p>選択した期間内のプライマリ VM およびセカンダリ VM またはデータストアのデータ保護ステータスの概要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドロップダウンメニューをクリックして、* VMS * または * Datastores * を選択します。 セカンダリストレージの場合は、* SnapVault * または * SnapMirror * を選択します。 グラフのセクションにカーソルを合わせると、そのカテゴリ内のVMまたはデータストアの数が表示されます。[成功]カテゴリには、各リソースの最新のバックアップが表示されます。 時間ウィンドウは、構成ファイルを編集して変更できます。デフォルトは7日です。詳細については、を参照してください "構成のカスタマイズ"。 内部カウンタは、プライマリまたはセカンダリの各バックアップ後に更新されます。ダッシュボードタイルは6時間ごとに更新されます。更新時間は変更できません。注：ミラーバックアップ保護ポリシーを使用している場合は、保護の概要のカウンタが SnapMirror チャートではなく SnapVault の概要チャートに表示されます。
構成	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere で管理されている各タイプのオブジェクトの総数。
ストレージ	<p>Snapshot、SnapVault、SnapMirror Snapshotの総数と、生成されたプライマリSnapshotとセカンダリSnapshotに使用されているストレージ容量。折れ線グラフには、過去90日間のプライマリストレージとセカンダリストレージの日単位の消費量が表示されます。ストレージ情報は24時間ごとに午前1時8分に更新されます。ストレージ削減量は、プライマリストレージの物理容量に対する論理容量 (Snapshotによる削減量とストレージ消費量の合計) の比率です。棒グラフはストレージ削減量を示しています。</p> <p>グラフの線にカーソルを合わせると、1日ごとの詳細な結果が表示されます。</p>

ジョブの監視

VMware vSphere Clientを使用してデータ保護処理を実行したあと、ダッシュボード

の[Job Monitor]タブでジョブステータスを監視し、ジョブの詳細を確認できます。

手順

1. vCenterクライアントのショートカットページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCVの左側のナビゲーションペインで、*[ダッシュボード]*を選択します。
3. 複数のvCenterがリンクモードで設定されている場合は、SCVプラグインインスタンスを選択し、*[Job Monitor]*タブを選択します。[Job Monitor]タブには、各ジョブとそのステータス、開始時刻、および終了時刻が表示されます。ジョブ名が長い場合は、右にスクロールしないと開始時刻と終了時刻が表示されない場合があります。表示は30秒ごとに更新されます。
 - ツールバーの更新アイコンを選択して、表示をオンデマンドで更新します。
 - フィルタアイコンを選択して、表示するジョブの期間、タイプ、タグ、およびステータスを選択します。フィルタでは大文字と小文字が区別されます。
 - ジョブの実行中に表示を更新するには、[ジョブの詳細]ウィンドウで更新アイコンを選択します。

ダッシュボードにジョブ情報が表示されない場合は、を参照してください ["技術情報アーティクル：「SnapCenter vSphere Client Dashboard does not display jobs」。](#)

ジョブログをダウンロード

ジョブログは、SnapCenter VMware vSphere Clientのダッシュボードにある[Job Monitor]タブからダウンロードできます。

VMware vSphere Clientの使用中に予期しない動作が発生した場合は、ログファイルを使用して原因を特定し、問題を解決できます。



ジョブログの保持のデフォルト値は30日です。ジョブの保持のデフォルト値は90日です。設定された保持期間よりも古いジョブログおよびジョブは、6時間ごとにページされます。設定REST APIを使用して、ジョブとジョブログを保持する期間を変更できます `jobs/cleanup`。ページスケジュールは変更できません。

手順

1. vCenterクライアントのショートカットページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCVの左側のナビゲーションペインで、[ダッシュボード]>*[ジョブモニタ]*を選択します。
3. ジョブモニタのタイトルバーでダウンロードアイコンを選択します。

アイコンを表示するには、右にスクロールしなければならない場合があります。

ジョブをダブルクリックして [ジョブの詳細] ウィンドウにアクセスし、[ジョブログのダウンロード] をクリックすることもできます。

結果

ジョブログは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが導入されているLinux VMホストに保存されます。デフォルトのジョブログの場所はです `/var/log/netapp`。

ジョブログをダウンロードしようとしたが、エラーメッセージ内のという名前のログファイルが削除されている場合は、次のエラーが発生することがあります。`HTTP ERROR 500 Problem accessing /export-scv-logs` このエラーを修正するには、エラーメッセージで指定されたファイルのファイルアクセスステータスと権限を確認し、アクセスの問題を修正します。

レポートへのアクセス

ダッシュボードから1つ以上のジョブのレポートを要求できます。

[Reports]タブには、ダッシュボードの[Jobs]ページで選択したジョブに関する情報が表示されます。ジョブが選択されていない場合、[レポート]タブは空白になります。

手順

1. vCenterクライアントのショートカットページで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere (SCV) を選択します。
2. SCVの左側のナビゲーションペインで、[ダッシュボード]>*[レポート]*タブを選択します。
3. バックアップレポートでは、次の操作を実行できます。
 - a. レポートの変更

 フィルタアイコンを選択して、期間、ジョブステータスタイプ、リソースグループ、およびレポートに含めるポリシーを変更します。

- b. 詳細レポートの生成

 任意のジョブをダブルクリックして、そのジョブの詳細なレポートを生成します。

4. オプション： [レポート] タブで、 [*ダウンロード*] をクリックし、形式（HTML または CSV）を選択します。

 ダウンロードアイコンをクリックしてプラグインのログをダウンロードすることもできます。

VMware vSphere Clientからのレポートの種類

VMware vSphere Client for SnapCenterにはカスタマイズ可能なレポートオプションが用意されており、データ保護ジョブやプラグインリソースのステータスに関する詳細を確認できます。一次保護のレポートのみを生成できます。



 バックアップスケジュールは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが導入されているタイムゾーンで実行されます。vCenterでは、データはvCenterが配置されているタイムゾーンでレポートされます。そのため、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereとvCenterが異なるタイムゾーンにある場合は、VMware vSphereクライアントのダッシュボードのデータがレポートのデータと同じでない可能性があります。

ダッシュボードには、移行後のバックアップが実行されたあとにのみ、移行されたバックアップに関する情報が表示されます。

レポートタイプ	製品説明
バックアップレポート	<p>バックアップジョブに関する概要データが表示されます。グラフ上のセクション / ステータスをクリックすると、そのステータスのジョブのリストが [* レポート *] タブに表示されます。各ジョブについて、ジョブID、対応するリソースグループ、バックアップポリシー、開始時間と期間、ステータス、およびジョブの詳細が表示されます。ジョブが完了した場合はジョブ名 (Snapshot名)、警告またはエラーメッセージが表示されます。レポートテーブルは、HTML形式またはCSV形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブのジョブモニタジョブログをダウンロードすることもできます。削除されたバックアップはレポートに含まれません。</p>
マウントレポート	<p>マウントジョブに関する概要データが表示されます。グラフのセクション/ステータスをクリックすると、[Reports]タブにそのステータスのジョブのリストが表示されます。各ジョブについて、ジョブID、ジョブステータス、ジョブ名、およびジョブの開始時刻と終了時刻が表示されます。ジョブ名にはSnapshot名が含まれています。たとえば、Mount Backup <snapshot-copy-name> レポートテーブルをHTML形式またはCSV形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブのジョブモニタジョブログをダウンロードすることもできます。</p>
リストアレポート	<p>リストアジョブに関する概要ステータス情報が表示されます。グラフのセクション/ステータスをクリックすると、[Reports]タブにそのステータスのジョブのリストが表示されます。各ジョブについて、ジョブID、ジョブステータス、ジョブ名、およびジョブの開始時刻と終了時刻が表示されます。ジョブ名にはSnapshot名が含まれています。たとえば、Restore Backup <snapshot-copy-name> レポートテーブルをHTML形式またはCSV形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブのジョブモニタジョブログをダウンロードすることもできます。</p>

レポートタイプ	製品説明
Last Protection Status of VM or Datastores レポート	<p>SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで管理されているVMとデータストアについて、指定された日数における保護ステータスに関する概要情報が表示されます。デフォルトは7日です。プロパティファイルの値を変更するには、を参照してください "設定のデフォルト値を変更します。"。プライマリ保護グラフでセクション / ステータスをクリックすると、そのステータスのVMまたはデータストアのリストが * Reports * タブに表示されます。保護されているVMとデータストアの[VM or Datastores Protection Status Report]には、設定された日数内にバックアップされたVMまたはデータストアの名前、最新のSnapshot名、および最新のバックアップ実行の開始時刻と終了時刻が表示されます。保護されていないVMまたはデータストアの[VM or Datastores Protection Status Report]には、設定された日数内にバックアップが完了していないVMまたはデータストアの名前が表示されます。レポートテーブルは、HTML形式またはCSV形式でダウンロードできます。レポート内のジョブだけでなく、すべてのジョブのジョブモニタジョブログをダウンロードすることもできます。このレポートは、プラグインのキャッシュが更新されると1時間ごとに更新されます。そのため、最近バックアップされたVMまたはデータストアが表示されないことがあります。</p>

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUIからのサポートバンドルの生成

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理GUIにログオンするには、IPアドレスとログインクレデンシャルが必要です。また、メンテナンスコンソールから生成されたMFAトークンもメモしておく必要があります。

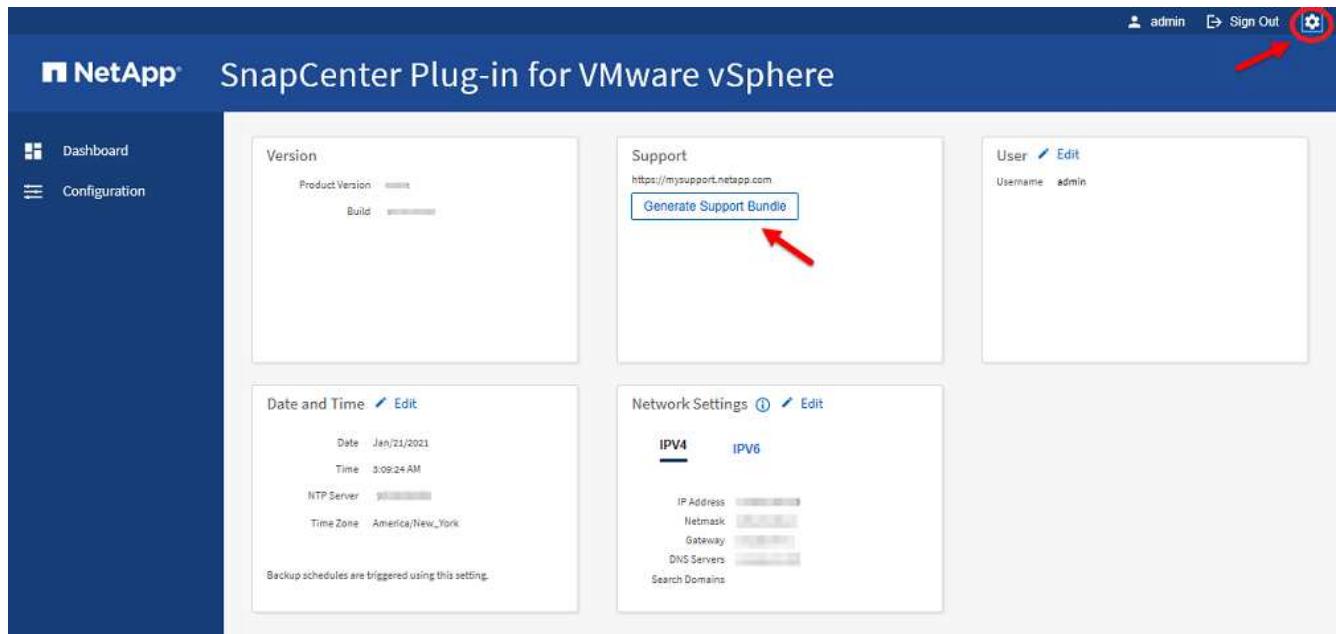
- このIPアドレスは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に表示されました。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に指定したログインクレデンシャル、またはあとで変更したログインクレデンシャルを使用します。
- メンテナンスコンソールの[System Configuration]オプションを使用して、6桁のMFAトークンを生成します。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUIにログインします。

の形式を使用します <https://<OVA-IP-address>:8080>。

2. 上部ツールバーの[設定]アイコンをクリックします。



3. [* 設定 *] ページの [* サポート *] セクションで、[* サポート * バンドルの生成] をクリックします。
4. サポートバンドルが生成されたら、表示されたリンクをクリックしてNetAppにバンドルをダウンロードします。

メンテナンスコンソールからサポートバンドルを生成する

手順

1. VMware vSphere Clientで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが配置されているVMを選択します。
2. 仮想アプライアンスの*タブで[リモートコンソールの起動]または[Webコンソールの起動]*をクリックしてメンテナンスコンソールウィンドウを開き、ログオンします。

メンテナンスコンソールへのアクセスとログオンの詳細については、を参照してください "Maintenance Consoleにアクセスします"。

```
Maintenance Console : "SnapCenter Plug-in for VMware vSphere"
Discovered interfaces: eth0 (ENABLED)

Main Menu:
-----
1 ) Application Configuration
2 ) System Configuration
3 ) Network Configuration
4 ) Support and Diagnostics

x ) Exit

Enter your choice: _
```

3. メインメニューから、オプション * 4) Support and Diagnostics * と入力します。
4. Support and Diagnostics (サポートおよび診断) メニューから、オプション * 1) Generate support bundle (サポートバンドルの生成) と入力します。 *

サポートバンドルにアクセスするには、[サポートと診断 (Support and Diagnostics)] メニューでオプション * 2) 診断シェルへのアクセス * を入力します。コンソールで、に移動します

/support/support/<bundle_name>.tar.gz。

監査ログ

監査ログはイベントを時系列順に集めたもので、アプライアンス内のファイルに書き込まれます。監査ログファイルはで生成され /var/log/netapp/audit、ファイル名は次のいずれかの命名規則に従います。

- audit.log : 使用中のアクティブな監査ログファイルです。
- 監査-%d {yyyy-mm-dd-HH - mm -ss} .log.gz : 監査ログファイルをロールオーバーします。ファイル名に含まれる日時は、ファイルが作成された日時を示します。例：audit-2022-12-15-16-28-01-log.gz

SCVプラグインユーザインターフェイスでは、* Dashboard > Settings > Audit Logs *タブから監査ログの詳細を表示およびエクスポートできます。監査ログの処理の監査は、監査ログで確認できます。監査ログはサポートバンドルとともにダウンロードされます。

Eメールが設定されている場合は、監査ログの整合性検証に失敗した場合に、SCVからEメール通知が送信されます。監査ログ整合性検証エラーは、いずれかのファイルが改ざんまたは削除された場合に発生することがあります。

監査ファイルのデフォルトの設定は次のとおりです。

- ・使用中の監査ログファイルは最大10MBまで拡張可能
- ・最大10個の監査ログファイルを保持

ロールオーバーされた監査ログは定期的に整合性が検証されます。SCVには、ログを表示して整合性を検証するためのREST APIが用意されています。組み込みのスケジュールがトリガーされ、次のいずれかの整合性ステータスが割り当てられます。

ステータス	製品説明
改ざん	監査ログファイルの内容の変更
標準	監査ログファイルは変更されていません
ロールオーバー削除	-監査ログファイルは保持に基づいて削除されます-デフォルトでは10個のファイルのみが保持されます
予期しない削除	監査ログファイルが削除されました
アクティブ	-監査ログファイルが使用中です。audit.logにのみ適用されます。

イベントは、主に次の3つのカテゴリに分類されます。

- ・データ保護イベント
- ・メンテナンスコンソールイベント
- ・管理コンソールイベント

データ保護イベント

SCVのリソースは次のとおりです。

- ・ストレージシステム
- ・リソースグループ
- ・ポリシー
- ・バックアップ
- ・配信登録
- ・アカウント

次の表に、各リソースで実行できる操作を示します。

* リソース *	* 操作 *
ストレージシステム	作成、変更、削除
配信登録	作成、変更、削除
アカウント	作成、変更、削除
リソースグループ	作成、変更、削除、一時停止、再開
ポリシー	作成、変更、削除

バックアップ	作成、名前変更、削除、マウント、アンマウント、VMDKのリストア、VMのリストア、VMDKの接続、VMDKの接続解除、ゲストファイルのリストア
--------	---

メンテナンスコンソールイベント

メンテナンスコンソールでの管理操作が監査されます。メンテナンスコンソールで使用できるオプションは次のとおりです。

1. サービスの開始/停止
2. ユーザー名とパスワードの変更
3. MySQLパスワードの変更
4. MySQLバックアップの設定
5. MySQLバックアップのリストア
6. 「maint」ユーザのパスワードの変更
7. タイムゾーンの変更
8. NTPサーバの変更
9. SSHアクセスの無効化
10. jailディスクサイズの拡張
11. アップグレード
12. VMware Toolsのインストール（現在は、このツールをオープンVMツールに置き換えています）
13. IPアドレス設定の変更
14. ドメイン名検索設定の変更
15. 静的ルートの変更
16. 診断シェルへのアクセス
17. リモート診断アクセスの有効化

管理コンソールイベント

Admin Console UIでは、次の操作が監査されます。

- 設定
 - adminクレデンシャルを変更
 - タイムゾーンの変更
 - NTPサーバの変更
 - IPv4/IPv6設定の変更
- 構成
 - vCenterクレデンシャルの変更
 - プラグインの有効化/無効化

syslogサーバの設定

監査ログはアプライアンス内に保存され、定期的に整合性が検証されます。イベント転送を使用すると、は、ソースコンピュータまたは転送コンピュータからイベントを取得し、一元化されたコンピュータ（Syslogサーバ）に保存できます。データは、ソースとデスティネーションの間で転送中に暗号化されます。

開始する前に

管理者権限が必要です。

タスクの内容

このタスクは、syslogサーバの設定に役立ちます。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereにログインします。
2. 左側のナビゲーションペインで、[設定]>*>[設定]*を選択します。
3. ペインで、[監査ログをsyslogサーバに送信]*を選択します
4. 次の詳細を入力します。
 - syslogサーバのIP
 - syslogサーバのポート
 - RFC形式
 - syslogサーバ証明書
5. [保存]*をクリックして、syslogサーバの設定を保存します。

監査ログの設定を変更します

ログ設定のデフォルト構成を変更できます。

開始する前に

管理者権限が必要です。

タスクの内容

このタスクは、デフォルトの監査ログ設定を変更する場合に役立ちます。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereにログインします。
2. 左側のナビゲーションペインで、[設定]>*>[設定]*を選択します。
3. [監査ログ設定]*ペインで、監査ログファイルの最大数と監査ログファイルの最大サイズを入力します。
4. ログをsyslogサーバに送信することを選択した場合は、*[Send audit logs to Syslog server]*オプションを選択します。サーバの詳細を入力します。
5. 設定を保存します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。